

アジア室通信

2017年5月

71号



CONTENTS

【トピックス】

- 『第4回 Mfair バンコク 2017 ものづくり商談会』出展企業様紹介 1
みなと銀行 国際業務部 アジア室

- 跨境學童（越境児童）** 6
みなとコンサルティング株式会社
ビジネスサポート部 部長 明田 直也

- 上海外灘牛** 9
みなと銀行 上海駐在員事務所スタッフ 劉 雁

【みなと銀行からのお知らせ】

- FBC 上海 2017 ものづくり商談会出展者募集 11

【アジアビジネス情報】

- アジアニュース・主要経済指標 12

みなと銀行国際業務部アジア室

1. 本資料記載の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。 2. 著作権 本誌記載の情報の著作権は原則として弊行に帰属します。いかなる目的であれ、本誌の一部または全部について無断で、いかなる方法においても複写、複製、引用、転載、翻訳、貸与等を行うことを禁止します。 3. 免責 本誌記載の情報は、弊行が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡無しに変更されることもあります。弊行は当該情報に起因して発生した損害については、その内容如何にかかわらず一切責任を負いません。また、本稿の中で、意見にわたる部分は、筆者の個人的意見であり、筆者の所属する組織の見解を代表するものではありません。



『第4回 Mfair バンコク 2017 ものづくり商談会』

みなと銀行は昨年に引き続き、タイ王国・バンコク市にて開催される、製造業のビジネス拡大と交流を目的としたマッチング商談会に共催参加します。同国を中心としたアジアでの事業に取り組まれるお取引先様 8 社にご出展頂く予定です。

【商談会開催概要】

開催日時：2017年6月21日(水)～23日(金) 10:00～18:00

場 所：BITEC Hall 105 (タイ・バンコク市内)

市内中心からタクシーまたは BTS (高架鉄道) で約 30 分
BTS バンナー駅より徒歩約 5 分

《住所》88 Bangna-Trad Road (Km.1), Bangna, Bangkok

《URL》<http://www.bitec.co.th/default-en.html>

規 模：出展 191 社、来場者約 7,000 名 (2016 年実績)

出展企業：日系製造業、ソリューション企業(製造業企業にサービス、商品を提供する非製造業企業)



出展企業様紹介

神戸合成株式会社



会社概要

代表者：宮岡 督修

本 社：兵庫県小野市匠台 10 番地

設 立：1963 年

業 種：自動車・二輪車用化学品の開発製造販売
プラスチック成型用化学品開発製造販売
エアゾール充填加工
太陽光発電事業

当社は、本田技研工業、スズキ、カワサキ、いすゞ自動車、日野自動車など日本を代表するメーカーへ純正品を ODM 供給しています。主要製品は、ボディコーティング・ワックス・洗浄剤等です。他にもプラスチック成型の金型メンテナンスケミカルも販売しています。日本での確固たる製造販売基盤に加え、タイでエアゾール充填のビジネスパートナーを募集しております。Mfair 当日に限らずお気軽にお問い合わせ下さい。

<http://www.kobe-gosei.co.jp/>

株式会社双立



会社概要

代表者：桑名 恵子

本 社：大阪府堺市美原区太井 655

設 立：1957 年

業 種：各種合金ダイカスト
/ 各種金型設計製作

当社は日本で 60 年以上の実績があるアルミダイカストメーカーです。その中でも特に特殊ダイカスト（P F ダイカスト・真空ダイカスト）を得意とし、強度部品や外観部品など、お客様の様々なニーズに柔軟にお応え致します。

タイ指月電機株式会社



タイ指月電機株式会社は2007年4月に創立し家電機器コンデンサ及び電力用低圧コンデンサ関連機器の製造・販売を行っております。

会社概要

本社 :Bang-Chan Industrial Estate
No.111 Soi Serithai
54 T.Kannayao A.Kannayao,
Bangkok 10230 Thailand

設立 : 2007年

業種 : 交流機器用コンデンサ
低圧進相コンデンサ
低圧リアクトル
その他、コンデンサ関連
機器の製造・販売

タイセコムセキュリティ株式会社



会社概要

本社 : 14th Floor,CRC Tower,All
Seasons Place,87/2 Wireless
Road,Lumpinee, Phatumwan,
Bangkok

設立 : 1987年

業種 : 総合セキュリティサービス

タイNo.1のセキュリティ会社として、「困ったときはセコム」と思ってもらえるよう、首都バンコクを中心にソリューションまで含めたトータルなセキュリティをご提供しています。

日本シーム工業株式会社



会社概要

代表者：渡會 英明

本 社：兵庫県西脇市羽安町 83-1

設 立：昭和 47 年（1970 年）

業 種：電気工事用材料製造販売

【海外独立法人】

中国上海市／上海渡會貿易有限公司

ベトナムホーチミン市／日本シームベトナム有限公司

当社は、本社を兵庫県西脇市に置き電気工事材（フレキシブルコンジットパイプ及びコネクタ類）を製造販売しております。平成 6 年（1994 年）に中国へ進出しローカル企業 7 社に対して技術指導を行い、現在は品質も向上し安定した商品を送り出す事に成り多くの顧客様より御好評を賜っております。

この度の商談会で現地の情報取得と部材調達先と販売を目的に現地進出企業と商談を行う予定です。

株式会社ニューステージ



会社概要

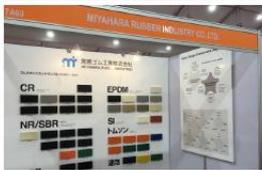
代表者：藤本 麗加

本 社：兵庫県神戸市中央区琴ノ緒町
2 丁目 4 番 3 号

設 立：2014 年

業 種：ステンレス製線

当社は高精細、高精度な金網と金網加工品を多く取り揃え、お客様のニーズに叶う製品を開発し続けます。



我々にしかできないものを世界に！

当社は、天然、合成および特殊合成ゴムスポンジシート専門の素材メーカー。ゴムスポンジは、防音、防水、防塵、制振、断熱等の機能を必要とする各種機器において、隠れた部材として製品に組み込まれており、当社の製品は国内においては、自動車産業を中心に弱電、土木建築等の幅広い分野でご使用いただいています。数年前より、海外での販路開拓のため、アメリカ、ヨーロッパ、タイへの海外営業も開始。タイにおいては、昨年に引き続き、タイMfairへ出展し、当社の製品を広めるべく、より多くの方に知っていただければと願っています。

宮原ゴムについて

代表者：宮原 良信
本 社：神戸市長田区苅藻通 1-1-20
創 業：昭和 40 年
業 種：ゴムスポンジシート製造・販売
<http://www.miyahara-rubber.co.jp/>

リープтонエナジー株式会社



会社概要

代表者：周鳴飛
本 社：兵庫県神戸市中央区相生町
1-2-1 東成ビルディング 6F
設 立：平成 24 年 7 月
業 種：太陽光発電システム開発・
製造・販売

リープтонエナジー株式会社は、兵庫県神戸市に本社を構える太陽光発電の総合システムメーカーです。製造拠点を中国におき、高品質・低価格の太陽電池モジュール、架台の開発をおこなっています。自社太陽電池モジュール、架台、基礎杭のほか、太陽光発電に必要なパワーコンディショナなどの周辺機器、メンテナンスまでをトータルでご提供しています。

※屋号を除いた企業名についてアイウエオ順での掲載

跨境學童(越境兒童)

みなとコンサルティング株式会社
ビジネスサポート部 部長
明田 直也

以前深セン市に出張し、香港に移動しようとした夕方のことですが、深セン側の国境最寄の地下鉄「福田口岸」駅付近で多くの子供の集団を見かけ、少し面食らったことがあります。彼ら彼女らは主に深セン市に在住し、香港の学校まで通っている「越境兒童」なのです。子供達は毎日、駅に隣接した「落馬州」出入境管制站（イミグレーション、いわば国境検問所）を通過して、香港に入ります。小学生以下は香港人の添乗員が乗ったバス通学（越境認可バス）が多く、子供達は毎朝「福田口岸」駅に集合し、添乗員がイミグレーション通過を含め学校と国境の間を付添います。また「福田口岸」駅付近の朝夕の時間帯は、毎日のように子供を送迎する保護者であふれ、中には高級車で駆けつける家庭も多いようです。

■越境兒童の背景など

これは、2012年まで認められていた香港の出生主義戸籍制度の影響が大きいようです。つまり、2012年以前は、両親が中国大陸戸籍であっても、香港内で出産すると子供は香港戸籍を得られ、「香港人」として香港の様々な社会福祉制度を享受することができます。か



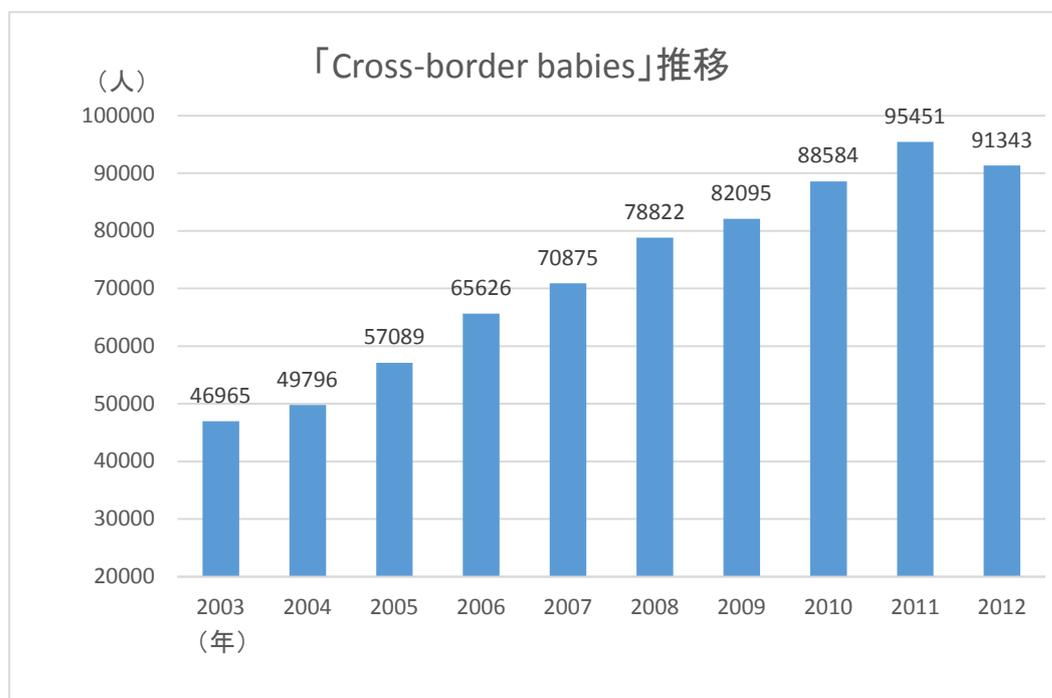
香港方面「過境通道」(深センと香港間の境界通路) 子供達(右綠色表示)は毎朝ここを通過して香港へ

つて「一人っ子政策」をとってきた中国において、大事な我が子に親がまずしてやりたいことは教育かと思います。特に西洋スタイルが発達し国際的にレベルも高く、学習環境がより整った香港の学校に通わせたいという親が増えたのです(例えば、香港の幼稚園における英語のレベルは深セン市内の小学校よりもはるかに高いと言われています)。このため以前は中国大陸人妊婦による香港の病院での出産がブームとなり、そのあおりで香港人妊婦にとって出産を希望

する病院の予約がとれない等の社会問題となったため、香港政府は 2013 年より「零雙非 (Zero delivery quota)」規制 (=両親ともに香港人以外の場合は香港戸籍を認めない) に踏み切りました。(因みに「単非」=親の片方だけが香港人以外の場合は当然認められます)。

地元紙によると、「零雙非」規制が導入される前の、2012 年以前に香港で生まれた「Cross-border babies」(香港で生まれた中国大陸人の子供、親の片方が中国大陸人以外である場合を含む)の規制前 3 年間の推移は、2010 年 88,584 名、2011 年 95,451 名、2012 年 91,343 名とあります(【表 1】ご参照)。この子たちはこれから学童期を迎えますが、いわば既得権を有し、香港の学校に通う権利(※)があります。(※香港では小学校～高校まで 12 年の義務教育が保証されている)

また「越境児童」数の推移では、2010-2011 年学業年度時に 9,899 人だったのが、2014-2015 学業年度では 24,990 人に増加、2018-2019 学業年度にはピークを迎える予想されています。



【表 1】香港で生まれた大陸中国人(片方が大陸中国人以外を含む)の子供の推移
※香港地元誌記事を基に筆者作成

■子の悩み、親の悩みなど

越境児童を持つ家庭にとって、将来の希望に向けて全てがバラ色というわけでもなく、親子双方ともそれなりのストレスや代償があるようです。

越境児童にとっては、まず通学に 3~4 時間は要すると思われます(宿題もあり、その分遊びの時間は少なくなる)。あと学校を中心とした広東語環境とのギャップやカルチャーショック、通学途中での疲れ、空腹などもあり、特に小さな子には慣れるまで肉体的にも精神的にも大きな負担かと思います。

一方、中国人の親にとっても悩みはあるようです。総じて経済的に裕福な家庭が多そうですが、それでも将来にわたって子供の教育にかかる負担は軽くありません。さらに、親は普通語（北京語）を話すため、家庭で広東語教育のフォローができない、子供の英語の宿題を見られない等、また子供の学業成績が芳しくないため、中国大陸の学校に転入させたいと思っても、大陸の公立学校は香港戸籍の子供を受け入れてくれない等、問題がいくつもあります。深セン市には「民辦学校」（香港戸籍の子供を対象とした香港式教育を行う私立学校）というものもあるようですが、基本的には学費が高い私立学校、もしくはインターナショナルスクールに入れるしか選択肢がありません。

越境児童の状況はあと 10 年くらい注視してもよさそうです。



深セン側の児童集合地点（父兄送迎場所）
子供達は朝夕ここに集合する

上海外灘牛

みなと銀行 上海駐在員事務所スタッフ 劉 雁



上海を訪れるなら、観光のメッカ・外灘（バンド）の散策がお勧めです。大きな河川（黄浦江）沿いに租界時代の西洋建築が並び、「外灘万国建築博覧」と言われています。

上海が開港してから、多くの外国の銀行や商社などは、外灘に集まり始めました。外灘は、すぐに中国全土ひいては極東

の金融と貿易の中心地となりました。このような歴史的背景をもとに、現在の外灘一帯の「中山東路」と「福州路」の交差点エリアが、上海市政府により「外灘金融広場」と命名されました。

上海市は新たな金融センターのランドマークを作るべきではないかと考えました。参考にしたのは、1987年の株式大暴落後、ニューヨークが再度活気づくことを願い、ニューヨーク証券取引所の前に米国籍イタリア人アーティスト Arturo Di Modica（アトロ・ディ・モディカ）によって製作、設置された牛の銅像（チャージング・ブルまたはウォール・ストリート・ブル）です。チャージング・ブルは、下から上に突き上げる姿勢で、低迷する株価を上昇させるという願望も込められています。この話をもとに、上海の「外灘金融広場」にも同じような銅像牛を設置するアイデアが浮かびました。



そして、外灘が所属する黄浦区政府の関係者は、チャージング・ブルの製作者であるモディカ氏と連絡を取り、上海に呼び寄せました。上海を訪れたモディカ氏は、中国の東方文明、上海の活気に魅了され、「外灘金融広場」のために、より若く強い「外灘牛」（バンド・ブル）を創作することを承諾しました。

2010年5月、上海万博が開催されると同時に、「外灘牛」（重さ2.5t、全長5.2m、高さ3.2m）は無事に「外灘金融広場」に設置されました。「チャージング・ブル」が怒り始めたお父さんという感じに対し、「バンド・ブル」は中国人の好きな赤色で、尻尾は上向きに跳ね上げられ、頭は少しだけ上を向き、力強い若者といった印象です。

中国人にとって牛は、粘り強く、勤勉で、豊かなものの象徴です。証券界では、相場が上がり続けることを「牛市」（ブルマーケット）といい、下がり続けることを「熊市」（ベアマーケット）といいます。「外灘牛」を通して、上海から中国全国、そして日本の経済市場にも「牛市」が長く続くことをお祈りします！



「外灘牛」の説明プレート（「外灘牛」は、「外灘金融広場」の為、米国籍イタリア人の著名彫刻家、「チャージング・ブル」の創作者アトロ・ディ・モディカ先生によって設計、製作されたものです。）

【出展企業募集中！】

締切迫る！！

第20回 FBC 上海 2017 ものづくり商談会

- ☆日系出展企業で中国最大規模の製造業イベント
(2016年実績：出展447社、来場者24,900名)
- ☆事前マッチングにより効率の良い商談を実現



中国での部材調達、販路拡大にご興味のある**製造業、ソリューション企業**（製造業企業にサービス、商品を提供する非製造業企業）様は、是非ご参加ください。

- 開催日時 2017年9月21日(木)～23日(土)
- 主催 ファクトリーネットワークチャイナ
- 会場 国家会展中心（上海）2号館（中国上海市崧澤大道333号）
- 出展費用 8,500元/ブース（約140,000円 ※1元=16.5円で試算）

上記はみなと銀行を経由してお申込された場合の費用です。

お客様から主催者への直接のお申込の場合、以下会員である必要があります。

- 【FNAメンバーシップサービス会員】…主催者が販路拡大・調達支援の年間サービスを提供
- ベーシック会員（年会費4,000元）：出展費用11,000元
- シルバー会員以上（年会費10,000元～）：出展費用8,500元

※日本での国内振込は請求日前月末の三菱東京UFJ銀行発表のTTSレートを適用。
日本円支払時は5%事務手数料が発生。振込手数料は別途出展者ご負担となります
ので予めご了承下さい。

- 申込期限 **2017年5月31日(水)**
- 共催 みなと銀行 ほか地方銀行および自治体など 合計32団体
- 出展特典 当商談会に出展頂いた企業様は、
「FBC 広州 2017 ものづくり商談会」（2017年11月開催予定）
に**無料出展可能**

※お申込み・お問い合わせは、みなと銀行国際業務部アジア室（TEL:078-333-3283）
または、お取引店の担当者までお申し出ください。

アジアニュース・主要経済指標

【ベトナム】

同国紙は、国内の繊維・縫製分野への投資が再び活発になっていると報じた。環太平洋連携協定(TPP)の発効により同国が米国などへの輸出拠点となることを見込み、投資が活発化していた。TPPの実現が困難となったとしても他の自由貿易協定(FTA)を通じて同国が有利な立場を占めることが可能との見方により、新規案件や既存事業を拡大する動きが目立っている。

【ミャンマー】

同国投資企業管理局(DICA)は2016年度(16年4月~17年3月)の同国への外国直接投資は前年度比30%減の66億4981万ドル(約7200億円)であったと報じた。前年度に半分超を占めた石油・ガス投資は新規開発案件が無く、認可済みの投資が一段落したためゼロになった一方、運輸・通信分野は携帯電話のインフラ整備が進んでいるため投資額は60%増の30億8114万ドルとなり、分野別で最多となった。

【シンガポール】

同国紙は、政府が生産性の高いハイテク農業向けに、期間20年で新たな農地を貸し出すことを計画していると報じた。当初、期間を10年とする予定であったが、新たな技術への投資を回収するにはより長い期間が必要だとする多くの農業従事者の意見を反映したものの。政府は今後、長期の農地貸し出しに加え農業従事者の新技術導入への支援も強化していく方針。

【インド】

同国鉄鋼省長官は、国内鉄鋼市場への外資参入を促すため、土地確保を容易にするなど複数の優遇策を準備していることを明らかにした。モディ首相が2030年までに国内鉄鋼生産を3倍に増やす計画を承認したことを受けたもの。また、政府は大規模政府プロジェクトに国産鉄鋼の使用を義務付けることなどを近々発表する予定。

■通貨（対ドル為替相場、年末・月末時点相場）

	日本	中国	香港	韓国	台湾	シンガポール	タイ	マレーシア	ベトナム	インドネシア	フィリピン	インド
	JPY	CNY	HKD	KRW	TWD	SGD	THB	MYR	VND	IDR	PHP	INR
2012年12月	86.10	6.2316	7.7506	1,065.26	29.011	1.2214	30.578	3.0566	20,835	9,637	41.005	54.7850
2013年12月	104.99	6.0556	7.7539	1,052.43	29.823	1.2641	32.765	3.2785	21,105	12,173	44.390	61.8553
2014年12月	119.44	6.2052	7.7545	1,087.60	31.642	1.3217	32.880	3.4965	21,388	12,412	44.788	63.1253
2015年12月	120.38	6.4935	7.7509	1,176.01	32.828	1.4131	36.058	4.2935	22,475	13,850	46.870	66.1590
2016年12月	116.96	6.9502	7.7559	1,207.82	32.254	1.4468	35.799	4.4862	22,761	13,473	49.730	67.9250
2017年1月	112.80	6.8659	7.7590	1,161.60	31.362	1.4098	35.208	4.4285	22,593	13,352	49.765	67.8650
2月	112.77	6.8654	7.7624	1,130.35	30.652	1.4032	34.905	4.4405	22,764	13,336	50.220	66.6900
3月	111.39	6.8780	7.7709	1,118.40	30.328	1.3971	34.365	4.4255	22,755	13,326	50.200	64.8500
4月	111.49	6.8877	7.7784	1,137.80	30.210	1.3970	34.620	4.3410	22,744	13,329	49.965	64.2450

※フィリピンは4月28日が休日であった為、4月27日の値を記載

■株価（年末・月末時点相場）

	日本	中国	香港	韓国	台湾	シンガポール	タイ	マレーシア	ベトナム	インドネシア	フィリピン	インド
	日経平均 株価	上海総合 指数	香港 恒生指数	韓国総合 株価指数	台湾加権 指数	ST指数	SET指数	クアラルンプール 総合指数	ベトナムVN 指数	ジャカルタ 総合指数	フィリピン 総合指数	NIFTY 指数
2012年12月	10,395.18	2,269.13	22,656.92	1,997.05	7,699.50	3,167.08	1,391.93	1,688.95	413.73	4,316.69	5,812.73	5,905.10
2013年12月	16,291.31	2,115.98	23,306.39	2,011.34	8,611.51	3,167.43	1,297.71	1,866.96	504.63	4,274.18	5,889.83	6,304.00
2014年12月	17,450.77	3,234.68	23,605.04	1,915.59	9,307.26	3,365.15	1,497.67	1,761.25	545.63	5,226.95	7,230.57	8,282.70
2015年12月	19,033.71	3,539.18	21,914.40	1,961.31	8,338.06	2,882.73	1,288.02	1,692.51	579.03	4,593.01	6,952.08	7,946.35
2016年12月	19,114.37	3,103.64	22,000.56	2,026.46	9,253.50	2,880.76	1,542.94	1,641.73	664.87	5,296.71	6,840.64	8,185.80
2017年1月	19,041.34	3,159.17	23,360.78	2,067.57	9,447.95	3,046.80	1,577.31	1,671.54	697.28	5,294.10	7,229.66	8,561.30
2月	19,118.99	3,241.73	23,740.73	2,091.64	9,750.47	3,096.61	1,559.56	1,693.77	710.79	5,386.69	7,212.09	8,879.60
3月	18,909.26	3,222.51	24,111.59	2,160.23	9,811.52	3,175.11	1,575.11	1,740.09	722.31	5,568.11	7,311.72	9,173.75
4月	19,196.74	3,154.66	24,615.13	2,205.44	9,872.00	3,175.44	1,566.32	1,768.06	717.73	5,685.30	7,661.01	9,304.05

※フィリピンは4月28日が休日であった為、4月27日の値を記載

■政策金利（年末・月末時点）

	日本	中国	香港	韓国	台湾	シンガポール	タイ	マレーシア	ベトナム	インドネシア	フィリピン	インド
	3Month -TIBOR	1年物 貸出金利	HKMA香港 ペーR	韓国オフ シヤルR	台湾中銀 ディスカントR	中銀翌日物 貸出金利	タイ 翌日物金利	MAOPRATE Index	VNREFRNC Index	インドネシア リファレンスR	フィリピン翌日 物借入金利	インド レボR
2012年12月	0.30917	6.00	0.50	2.75	1.875	0.61	2.750	3.00	9.00	5.75	3.50	8.00
2013年12月	0.22091	6.00	0.50	2.75	1.875	0.64	2.000	3.00	7.00	7.50	3.50	7.75
2014年12月	0.18090	5.60	0.50	2.00	1.875	0.77	2.000	3.25	6.50	7.75	4.00	8.00
2015年12月	0.17091	4.35	0.75	1.50	1.625	1.21	1.500	3.25	6.50	7.50	4.00	6.75
2016年12月	0.05727	4.35	1.00	1.25	1.375	1.17	1.500	3.00	6.50	6.50	3.00	6.25
2017年1月	0.05727	4.35	1.00	1.25	1.375	0.75	1.500	3.00	6.50	6.50	3.00	6.25
2月	0.05727	4.35	1.00	1.25	1.375	1.05	1.500	3.00	6.50	6.50	3.00	6.25
3月	0.05727	4.35	1.25	1.25	1.375	1.54	1.500	3.00	6.50	6.50	3.00	6.25
4月	0.05727	4.35	1.25	1.25	1.375	1.26	1.500	3.00	6.50	6.50	3.00	6.25

※日銀は金融市場調節を2013年4月よりマネタリーベースに変更。3Month-TIBORを参考記載。

※シンガポールは金融市場調節を為替レートにより実施。中央銀行翌日物貸出金利(Standing Facility Borrowing Rate)を参考記載。

■実質GDP成長率（前年比、前年同期比）

	日本	中国	香港	韓国	台湾	シンガポール	タイ	マレーシア	ベトナム	インドネシア	フィリピン	インド
2012年	1.50	7.90	1.70	2.30	2.06	3.70	7.30	5.50	5.25	6.03	6.70	6.70
2013年	2.00	7.80	3.10	2.90	2.20	4.68	2.80	4.70	5.42	5.56	7.10	5.50
2014年	0.35	7.30	2.80	3.30	4.02	3.28	0.80	6.00	5.98	5.01	6.20	6.50
2015年	1.23	6.90	2.40	2.80	0.72	1.95	2.90	5.00	6.68	4.88	5.90	7.20
2016年	1.00	6.70	1.90	2.80	1.50	1.98	3.20	4.20	6.21	5.01	6.80	7.90
2017年1-3月		6.90		2.70	2.56	▲1.90			5.10			

■CPI消費者物価指数（前年比、前年同月比）

	日本	中国	香港	韓国	台湾	シンガポール	タイ	マレーシア	ベトナム	インドネシア	フィリピン	インド
2012年	▲0.04	2.65	4.06	2.20	1.93	4.58	3.02	1.68	6.81	3.98	3.16	9.30
2013年	0.35	2.63	4.33	1.30	0.79	2.38	2.19	2.09	6.04	6.40	2.93	10.92
2014年	2.73	1.99	4.43	1.30	1.20	1.03	1.90	3.16	1.84	6.42	4.18	6.38
2015年	0.80	1.44	3.00	0.70	▲0.31	▲0.52	▲0.90	2.10	0.60	6.38	1.43	5.88
2016年	▲0.13	2.01	2.42	1.30	1.40	▲0.53	0.19	2.09	4.74	3.53	1.78	4.97
2017年1月	0.40	2.50	1.30	2.00	2.24	0.60	1.55	3.20	5.22	3.49	2.70	3.17
2月	0.30	0.80	▲0.10	1.90	▲0.07	0.70	1.44	4.50	5.02	3.83	3.30	3.65
3月	0.20	0.90	0.50	2.20	0.18	0.70	0.76	5.10	4.65	3.61	3.40	3.81
4月									4.30			

※空欄は数値算定中

（出所）各国（地域）統計，政府発表，ブルームバーグ

みなと銀行上海駐在員事務所

中国長江デルタ経済圏へ進出をされている、または、今後進出や投資をご検討されているお客さまのサポート

上海駐在員事務所では、このようなサービスをご提供しております。

- 中国の金融経済等各種情報の提供
- 中国企業及び日系・外資系企業の動向調査
- お客さまの中国進出に関する支援活動



中華人民共和国上海市銅仁路 195 号 中欣大廈 3312 号室
TEL. 86-21-6289-8080 FAX. 86-21-6289-8608

みなと銀行 上海駐在員事務所長 的場 稔

みなと銀行上海駐在員事務所は、2007年4月に開所し、日本からの派遣社員1名、ローカルスタッフ1名の計2名体制で業務にあたっています。

中国経済の成長減速などもささやかれています。経済規模、日本との経済面での関係を見れば、決して無視することのできない国であります。

中国を生産拠点との位置付けから消費市場との位置付けとし、更なる市場拡大を企図している企業も見られます。

当上海事務所は、中国に進出されているお客さまへの情報発信、現地ビジネスマッチング、商談会、セミナーの開催など海外ビジネス支援を行っております。

ご要望等ございましたら当上海駐在員事務所までお気軽にご相談下さい。



お問い合わせ先

みなと銀行国際業務部アジア室



〒651-0193神戸市中央区三宮町2丁目1-1

TEL. 078-333-3283

FAX. 078-331-5845